

ご使用に際して、この説明書を必ず読んで下さい。
また、必要な時に読めるよう本剤とともに保管して下さい。

東洋の小青竜湯エキス顆粒 S 分包

(しょうせいりゅうとう)

第2類医薬品

本剤は、漢方の古典「傷寒論」「金匱要略」に記載されている小青竜湯に準拠して製造されたエキス顆粒剤です。



使用上の注意



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

- | | |
|------------------------------|--------------------------------------|
| (1) 医師の治療を受けている人。 | (6) 高齢者。 |
| (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。 | (7) 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。 |
| (3) 体の虚弱な人（体力の衰えている人、体の弱い人）。 | (8) 次の症状のある人。：むくみ、排尿困難 |
| (4) 胃腸の弱い人。 | (9) 次の診断を受けた人。：高血圧、心臓病、腎臓病、甲状腺機能障害 |
| (5) 発汗傾向の著しい人。 | |

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

| 関係部位 | 症 状 |
|-------|----------------|
| 皮 膚 | 発疹・発赤、かゆみ |
| 消 化 器 | 吐き気、食欲不振、胃部不快感 |

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

| 症状の名称 | 症 状 |
|-------------------------|--|
| 間 質 性 肺 炎 | 階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。 |
| 偽アルドステロン症、 ミ オ パ チ ー | 手足のだるさ、しびれ、つばり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。 |
| 肝 機 能 障 害 | 発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。 |

3. 1ヵ月位（鼻水、うすい水様の痰を伴う咳に服用する場合には5～6日間）服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

4. 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

[効能・効果]

気管支炎、気管支ぜんそく、鼻水、うすい水様の痰を伴う咳、鼻炎

[用法・用量]

下記の量を食前又は食後に水又は白湯にて服用して下さい。

| 年 齢 | 1 回 量 | 1 日 服 用 回 数 | 年 齢 | 1 回 量 | 1 日 服 用 回 数 |
|------------|-------|-------------|-----------|-------|-------------|
| 大人(15才以上) | 1 包 | 3 回 | 7才未満 4才以上 | 1/2 包 | 3 回 |
| 15才未満 7才以上 | 2/3 包 | | 4才未満 2才以上 | 1/3 包 | |
| | | | 2才未満 | | 服用しないこと |

[用法・用量に関連する注意]

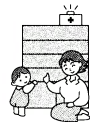
- (1) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。
(2) 用法・用量を厳守すること。

[成分・分量] 本品 1 日量 3 包 (1 包 1.5 g) 中

| | |
|---------------------------|--|
| 日本薬局方 シ ャ ク ヤ ク……………1.5 g | 日本薬局方 ゴ ミ シ……………1.5 g |
| 日本薬局方 カ ン ソ……………1.5 g | 日本薬局方 シ ョ ウ キ ョ ウ……………1.5 g |
| 日本薬局方 マ オ ウ……………1.5 g | 日本薬局方 ハ ン ゲ……………3.0 g |
| 日本薬局方 ケ イ ヒ……………1.5 g | より製した水乾乾燥エキス……………2.25 g |
| 日本薬局方 サ イ シ ン……………1.5 g | 添加物として、乳糖、メタケイ酸アルミン酸Mg、ステアリン酸Mgを含有しています。 |

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。
(2) 小児の手の届かない所に保管すること。
(3) 他の容器に入れ替えないこと。
(4) 1 包を分割した残りを服用する場合には、袋の口を折り曲げて保管し、2 日以内に使用すること。
(5) 本剤は生薬を原料としたエキスを用いた製品ですから、製品により色調や味が多少異なる場合がありますが、効果には変わりありません。



[問い合わせ先]

本製品についてのお問合せは、お買い求めのお店、または下記にお願い申し上げます。

東洋漢方製薬株式会社「お客様相談室」

電話 0120-00-1040

受付時間 9:00～17:00 (土、日、祝日を除く)

副作用被害救済制度の問合せ先
(独) 医薬品医療機器総合機構
電話 0120-149-931

製造販売元

東洋漢方製薬株式会社
〒584-0022 大阪府富田林市中野町東2丁目1番16号